



幸田町長  
近藤 徳光

# 心のかよう 夢と活力のある まちを目指して

このたびの町長選挙におきまして、再び町政を担当させていただくことになりました。身に余る光栄であり、選挙結果を謙虚に受け止め、幸田町の更なる発展のため一層の努力を傾ける所存でありますので、よろしくお願いたします。

さて、景気は回復傾向にあるとはいえ、市町村を取り巻く環境は依然厳しいものであることはご承知のとおりであります。こうした中、職員の意識改革と行財政改革に積極的に取り組み、町民の皆さんのご要望やご意見を誠実に町政に反映すべく努力致します。

## 安心・安全なまち

町民の皆さんが豊かな自然環境の中で、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを進めま

す。また、防災遠視カメラシステムの導入により、洪水時の水位観測を行い迅速な対策を講じます。防災あるいは防犯対策については、施設の整備のみならず、特に住民の皆さんのご協力をいただき、更に連携を密にして災害への対応や犯罪の未然の防止を図っていくことが極めて重要だと考えます。

## 都市基盤の整備

便利で快適な生活をする上で、道路・下水道・公園等の整備は不可欠であり引き続き整備に努めます。特に本町の将来に大きな影響を及ぼす相見土地画整理事業、幸田駅前再開発事業は第5次総合計画において大変重要な位置づけとしており積極的に取り組めます。また国道23号名豊道路と関連する道の駅等の整備促進を図ります。

## 産業の振興

活力ある町は産業の振興にかかっています。地場産業の振興と農業などの後継

者の育成、市民農園の開設支援、地産地消(食育)の推進、制度融資の充実、そして優良企業の誘致や多くの人が集まる拠点形成など次の時代を見据えた産業の振興にも取り組んでいきます。

## 健康・福祉

少子高齢化が進む中、保育・子育ての支援、高齢者福祉、介護の充実が極めて大切です。健康管理と健診機能の充実を図るとともに、乳児医療・公的負担年齢の段階引き上げや団塊の世代の就労開拓を行うためのシルバー人材センターの充実を図ります。

## 地域文化・人づくり

ゆとりや生きがいを支える文化活動やスポーツ・レクリエーションなどに生涯学習として取り組む機会を充実します。また、地域の自然や歴史文化資源を生かしながら文化活動やコミュニケーション意識の醸成を図ります。そして、子ども

大切に育てる学校教育・家庭教育の充実に取り組みながら、将来を担う青少年の健全育成を推進します。

## 自然環境

豊かな自然環境と地球の限りある資源を大切に活用する資源環境型社会の形成に町民の皆さんと共に取り組みます。環境基本計画の推進を図るとともに、ごみ減量と再資源化、一般廃棄物最終処分場の円滑な運営を行います。またリサイクルプラザの設置検討を更に進め快適で美しい環境を創造します。

以上、施政に当たる所信を申し述べましたが、本町がバランスよく発展することが何よりも大切であり、今後地方分権が一層進む中、さらに町民と行政が協働して進める「共進」を motto に、広域行政にも留意し、誇りが持てる「心のかよう 夢と活力のある まちづくり」に全力でまい進する所存でありますので、よろしくお願いを申し上げます。任のごあいさつとします。



特集  
救急の日

あなたの

力で  
救える命



# 119番通報を正しくできますか

倒れている人を発見したら、まず意識があるかを確認します。肩を軽くたたき、耳元で、「大丈夫ですか」と呼びかけて反応があるかを調べます。意識がなければ、助けを呼び119番通報を行います。このときに気をつけてほしいのは落ち着いて通報をすることです。あわてずに次のことを伝えてください。

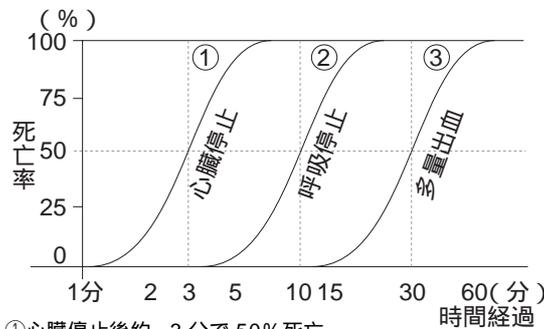
- ① 「救急です」
- ② 「場所は幸田町大字 〇〇字 〇〇です」(住所が分からない場合は、目印になる建物やバス停などを伝えてください)
- ③ 「私の名前は 〇〇です。電話番号は 〇〇〇〇〇〇です」

**携帯電話通報での注意点**  
携帯電話は、かける場所によって近隣市町村へ入電してしまうことがあります。町内の通報の場合は、必ず「場所は幸田町です」と伝えてください。

# 応急手当の重要性

119番通報が終了したら、救急隊と交代するまでの間、応急手当を行う必要があります。実は、これが最も重要で、応急手当を怠ったせいで救える命を落としてしまったということにもなりかねないのです。これを傷病・時間別に示したのがカーラーの救命曲線です。

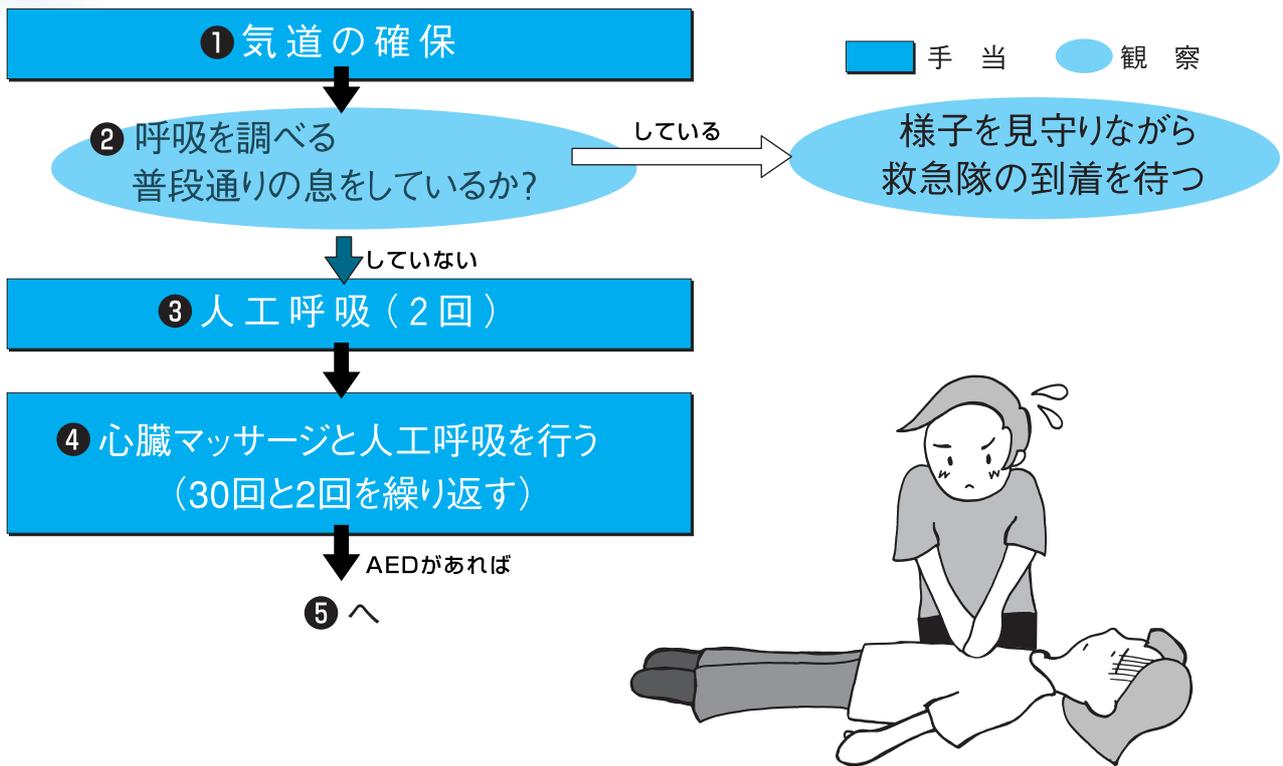
カーラーの救命曲線



- ①心臓停止後約 3分で50%死亡
- ②呼吸停止後約 10分で50%死亡
- ③多量出血後約 30分で50%死亡

応急手当にはさまざまなものがあります。心疾患(心筋梗塞や不整脈など)などにより突然心臓が止まった人には、心肺蘇生法が有効です。なお、心肺蘇生法の手順が愛知県では10月1日から変更になります。

# 心肺蘇生法の手順



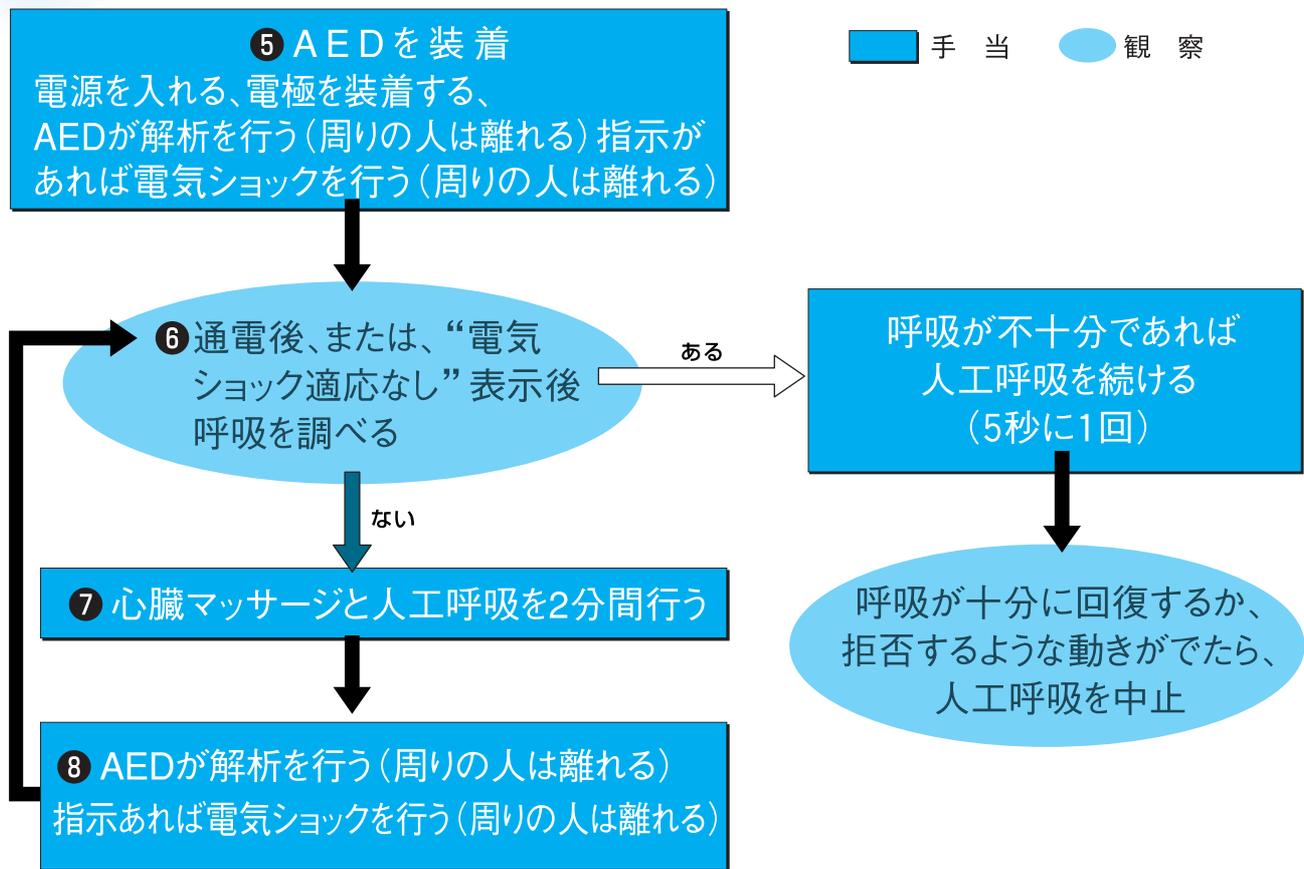
## AED（自動体外式除細動器）を知っていますか？

人工呼吸や心臓マッサージを直ちに始めることは、とても大切なことです。しかし、心室細動と呼ばれる心臓から血液を送り出すことができなくなった状態を元に戻すには、心臓に電気ショックを加える「除細動」を早期に行う必要があります。

AEDとは、救急現場で一般の人でも、簡単に安心して除細動を行うことができる機器です。日本では、これまで医療資格を持たない一般の人々が除細動を行うことは認められていませんでしたが、2004年7月からは一般の人々も使えるようになりました。



## 心肺蘇生法の手順（AEDがある場合）



問合せ  
消防署救急係  
☎ 63 0512



早い119番通報 おちついて、はっきりと119番に通報する  
早い応急処置 救急車到着前の早い心肺蘇生と早い除細動  
早い救急処置 救急隊や消防士等の行う高度な救急処置  
早い医療処置 医療機関における医療処置

現在、日本においては応急手当を実施した人に対する法的責任を免除していません。大切なことは、必要な場合には勇気を持って一刻も早く応急手当を行うことです。あなたの勇気を持った行動が一つの大事な命を救うことにつながるのです。

大事な命を守るために  
守るために